台風の接近・上陸に伴う洪水を対象とした避難情報発令着目型タイムライン（防災行動計画）
【星置川水系星置川　星置水位観測所】

（時間は参考）

水位情報（現地情報）

- 警戒レベル↓
- 星置川水位観測所
- 水防団待機水位到達 星置川水位観測所（水位5.88m）
- レベル1
- 水防警報（待機）水位到達 星置川水位観測所（水位6.09m）
- 氾濫注意水位（レベル2水位）到達 星置川水位観測所（水位6.29m）
- レベル2
- 避難判断水位（レベル3水位）到達 星置川水位観測所（水位6.46m）
- レベル3
- 氾濫危険水位（レベル4）到達 星置川水位観測所（水位6.75m）
- レベル4
- 計画高水位到達 星置川水位観測所（水位7.17m）
- 越水・溢水発生 星置川水位観測所（水位7.53m）
- 氾濫発生
- レベル5

気象情報（予測情報）

○台風情報
○石狩・空知・後志地方気象情報
○台風に関する説明会実施（札幌管区気象台）

警戒レベル1
早期注意情報（警報級の可能性）

【警戒レベル2】
洪水注意報

【警戒レベル3相当情報】
洪水警報

【警戒レベル3相当情報】
洪水警報の危険度分布で「警戒」（赤）が出現（流域雨量指数の予測値が洪水警報基準に達する）
かつ
一定の水位（氾濫注意水位6.29m）を超えた状態

【警戒レベル4相当情報】
洪水警報の危険度分布で「非常に危険」（うす紫）が出現（流域雨量指数の予測値が洪水警報基準を大きく超過する）
かつ
一定の水位（避難判断水位6.46m）を超えた状態

※台風接近・上陸

【警戒レベル5相当情報】
大雨特別警報（浸水害）

小樽建設管理部（事業課）

○「早期注意情報（警報級の可能性）」を確認
○施設（樋門等）の点検・操作確認
○応急対策用資機材等の確認
○協力機関の体制確認
○工事実施中の請負業者への連絡
○流域雨量指数（６時間先までを予想）を確認
○洪水の危険度分布（３時間先までを予想）を確認

【第１非常配備】
本部は、水防警報及び水位周知に関する発表を関係出張所等・地域政策課・本庁（維持管理防災課）に通知

水防警報（待機） → 振興局地域政策課

○流域雨量指数、洪水の危険度分布を随時確認
○（必要に応じ）河川利用者へ注意喚起

【警戒レベル2相当情報（洪水）】氾濫注意情報

水防警報（準備） → 振興局地域政策課

○応急対策用資機材等の準備　○被災情報の提供
○通信・輸送の確保

（災害対策地方連絡本部設置に伴い）
【第２非常配備】

【警戒レベル3相当情報（洪水）】氾濫注意情報

水防警報（出動） → 振興局地域政策課

○（必要に応じ）応急対策の実施

（災害対策地方本部設置に伴い）
【第３非常配備】

【警戒レベル4相当情報（洪水）】氾濫危険情報

水防警報（指示） → 振興局地域政策課

○氾濫危険水位の到達報告（ホットライン）

○破堤の恐れなど重大な事象が判明（ホットライン）

【警戒レベル5相当情報（洪水）】氾濫発生情報

振興局地域政策課

○氾濫の発生及びその状況（ホットライン）

○被災状況の把握

小樽市

○防災訓練の実施
○住民等における自主防災体制の整備・育成
○防災マップ・ハザードマップ等の作成及び住民への周知
○緊急時連絡体制、避難誘導等の防災体制の構築

○防災体制の確認
○全職員連絡体制確認
○消防職団員・建設業者の連絡体制確認
○気象情報の入手
○流域雨量指数（６時間先までを予想）を確認
○洪水の危険度分布（３時間先まで予想）を確認

○消防職団員・建設業者待機
○河川水位、雨量、降水短時間予報を確認
○総務部、建設部、消防本部の関係のある職員による情報収集必要に応じて自宅待機）
○災害対策連絡室設置

災害対策連絡室

○流域雨量指数、洪水の危険度分布を随時確認

災害対策連絡室

○消防職団員・建設業者出動準備
○水防区域等の監視警戒
○指定緊急避難場所等の開設を検討
○情報を収集し避難対象区域を検討
○必要に応じて災害対策本部設置を準備
○夜間に避難が想定される場合等高齢者等避難の発表の前倒しを検討

災害対策本部（災害対策連絡室）

高齢者等避難

○災害対策本部設置（市第1～３非常配備選択）
○避難所開設
○避難誘導
○避難状況の把握
○消防職団員・建設業者越水対策実施
○情報を収集し、避難情報対象地域を特定
○夜間に避難が想定される場合等避難指示の発表の前倒しを検討
○10分ごとに河川水位、雨量、降水短時間予報を確認

災害対策本部

避難指示

○氾濫危険水位の到達覚知（ホットライン）
○必要に応じて避難対処区域の拡大

○破堤の恐れなど重大な事象を覚知（ホットライン）

災害対策本部

緊急安全確保

○氾濫発生情報を関係機関へ通報
○被災状況の確認
○氾濫の発生及びその状況を覚知（ホットライン）
○必要に応じ振興局に自衛隊の派遣を要請

避難情報等の伝達

○電話又はFAX
○北海道防災情報システムへの入力
・TV放送
・ラジオ放送
・エリアメール
・緊急速報メール
○広報車
○消防車
○消防団
○ソーシャルネットワーキングサービス
ほか

住民等

○防災訓練への参加
○隣近所との相互協力関係の醸成

○防災グッズの準備
○家族との連絡方法確認
○ハザードマップ等による避難所・避難ルートの確認
○災害・避難カードの確認
○自宅保全
○テレビ、ラジオ、インターネット、携帯メール等による台風や河川に状況等の確認

○外出の中止、家族の動向確認
○避難の準備（要配慮者）
○氾濫に関する情報に注意

高齢者等避難開始

○高齢者等避難の覚知

○避難の準備（要配慮者以外）
○住民の自主避難の実施

避難開始

○避難指示の覚知

避難完了

○未避難者の緊急避難
○屋内安全確保（垂直避難）

最終的な危険回避行動

避難解除

-72h	（3日前）
-48h	（2日前）
-24h	（1日前）
$-2^{h}51^{m}$	
$-2^{h}29^{m}$	
$-2^{h}08^{m}$	
$-1^{h}51^{m}$	
$-1^{h}21^{m}$	
$-0^{h}37^{m}$	
0h	